

新規・継続等	新規	分野	主要な道路の整備			事業番号	38	事業名	道路改築(地方道)				
市町村名	すわし 諏訪市		ふりがな 箇所名	しゅ おかやちのせん おおくま (主) 岡谷茅野線 大熊			事業年度 (完了年度は見込み)	H23年度~		H28年度			
概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 L=1,100m W=6.0(11.0)m						H22年度末事業進捗率	0%				
	H23年度以降実施内容	同上						本工事費等ベース	0%				
	H23年度実施内容	道路詳細設計、用地測量、物件調査 1式						用地補償費ベース	0%				
	年度	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降							
	事業費計(千円)	1,100,000	0	0	30,000	1,100,000							
財源内訳	国庫支出金	605,000	0	0	16,500	605,000							
	その他												
	県債												
	一般財源	495,000	0	0	13,500	495,000							
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部	政策評価課			
								ランク	評点	ランク	評点		
	必要性 (25)	計画交通量	10,000台/日以上			1,500台以上~10,000台/日未満	1,500台未満			2		2	
		代替道路	唯一の道路である			代替となる道路がある			0		0		
		ネットワーク (道路網)	駅やインターチェンジが20km以内にある			駅やインターチェンジが20km以上にある		駅やインターチェンジに通じる路線でない		5		5	
			通行不能区間、冬期通行規制の解消又は市街地の活性化に資する路線である			山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセスに寄与する		山間地域の生活支援、商業、工業地域へのアクセス、市街地の活性化に寄与しない		A	2	A	2
		観光地に通じる道路			観光地に通じる道路ではない					2		2	
		各事業特有の必要性(安全の確保)			5.5m未満又は6.0m未満又は6%以上(幅員、半径、勾配)		5.5m以上6.5m未満(幅員)		6.5m以上(幅員)			4	4
	小計								4		4		
									19		19		
	重要性 (15)	関連計画との整合	県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(2個以上)			県計画に位置付けがある又は他の計画に関連(1個)		該当なし			6		6
		設計上の環境配慮	環境配慮がされ現実性が高い			環境配慮がされているが現実性が低い		環境配慮をしていない		A	4	A	4
		地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位置付けられている			緊急輸送路(2次)又は、奥産、雪害、過疎に位置付けられている		特別な位置づけはない			3		3
		小計								13		13	
	効率性 (15)	B/C(費用対効果)	B/C 1.5以上			B/C 1.0~1.5未満		B/C 1.0未満			6		6
		事業効果の早期発現 (H21以降残事業年数)	事業年数 5年未満			事業年数 5年~10年未満		事業年数 10年以上		A	3	A	3
		コスト削減	全体的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。			部分的に構造物・規格等についてコスト削減を実施している。		コスト削減はしていない			4		4
		小計								13		13	
	緊急性 (25)	安全性の向上	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる			交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる		交通事故や落石等の危険がない			9		9
		各事業特有の緊急性(渋滞対策・環境保全)(医療・福祉・教育)	渋滞箇所が緩和する			渋滞箇所ではないが、朝夕の局部的現象を緩和する		渋滞対策ではない		A	4	A	4
医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)			医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)		医療・福祉の連携に関係ない道路			9		9			
小計								22		22			
計画熱度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な要望が強い			市町村からの要望		特に要望がない			6		6	
	事業情報の共有	関係者以外に広く周知			関係者中心に周知		特に周知していない		B	3	B	3	
	住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加			住民や市町村の意見を計画策定に反映		特に住民意見は反映していない			4		4	
	小計								13		13		
費用対効果(B/C)		3.49			評価の合計				A	80	A	80	
事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(主) 岡谷茅野線は岡谷市から諏訪市を經由し茅野市に通じる幹線道路である。諏訪湖沿岸の岡谷市分は、H14の濃バイパスH15の丸山橋供用により改良となった。しかし、本計画区間は、幅員が狭く、線形も悪いため、大型車の通行に支障をきたしている。また、歩道も狭く、歩行者の安全確保のためにも、この区間の道路整備が強く求められている。平成21年8月の集中豪雨による新川支川の被害を受け、地元の改良要望の声が強く、河川と併せた改良整備を図る必要がある。												
地域からの要望経緯	平成13年2月 湖南大熊区から諏訪建設事務所長へ現道への歩道設置要望 平成14年2月 北真志野区から諏訪建設事務所長へバイパス要望 平成14年2月 湖南地区区長会から諏訪建設事務所長へバイパス要望 平成14年2月 湖南地区区長会・北真志野区から諏訪建設事務所長へバイパス要望 平成17年2月 湖南区長会から諏訪建設事務所へバイパス要望												
事業説明等の経緯	平成22年8月~9月 地元関係者に計画案の説明を実施												
環境・景観への配慮項目	震動を抑えるための軟弱地盤対策。極力盛り高を低くし、周辺の環境に配慮。バイパス機能整備による現道交通の転換により、沿道環境の改善を図りたい。環境配慮制度対象箇所												
他事業・プロジェクトとの関連	激特事業、社会資本整備総合交付金事業												
特記事項	地域の意見を聞きながら、工法等選定していきたい。												
地域の合意形成	全員賛成			概ね賛成			過半数賛成			動向不明		その他	
部意見	全体的に評価レベルが高く、関連する一級河川新川の河川改修事業も事業着手となり、計画熱度も高いため、平成23年度から事業着手したい。					政策評価課		必要性、重要性、緊急性が認められる。					